

人文学部第2次選考の面接（プレゼンテーションを含む）の実施方法について

【文化学科】

高校の間に受験者自身が取り組んだ探究的な活動についてプレゼンテーションを実施してもらい、それに基づいて質疑応答をおこないます。プレゼンテーションの時間は1人10分以内とします。質疑応答を含めた全体での時間は1人25分程度です。

- (1) 紙媒体のプレゼンテーション資料（A4 両面印刷×2 枚）を、試験当日に自分用の発表資料1部とは別に、3部持参して提出してください。なお、自分用の資料にはメモ等を書き込んで面接中に参照してもかまいません。
- (2) プロジェクタの使用（スクリーンへの投影）は任意とします。使用する場合、ノートパソコンやタブレット端末を持ち込んでHDMI形式で接続する方式のみ認めます。なお、投影に使用する以外の機器の使用は認めません。
- (3) 投影する資料がPowerPoint等のソフトで作成したスライドである場合、1ページあたり4スライドを割り付けたものを(1)の資料として提出してください。
- (4) 試験時間中に持ち込む機器による外部との通信は認めません。

【法律経済学科】

高校の間に受験者自身が取り組んだ探究的な活動についてプレゼンテーションを実施してもらい、それに基づいて質疑応答を行います。プレゼンテーションの時間は1人10分以内とします。質疑応答を含めた全体での時間は1人25分程度です。

- (1) 法律経済学科指定のプレゼンテーション用のテンプレートを入手し、テンプレート内の説明に従って資料を作成してください。当日は、このテンプレートで作成した発表資料を印刷したA4用紙でプレゼンテーションを行ってもらいます。
- (2) 試験当日に、自分用の発表資料1部とは別に、配付資料3部を持参して提出してください。なお、自分用の資料にはメモ等を書き込んで面接中に参照してもかまいません。
- (3) 面接試験（プレゼンテーションを含む）に際して電子機器の持ち込み・利用、録音・録画等は一切認めません。